





## かい わい 新井宿界隈

# 春の お散歩マップ

歴史と文化が薫る新井宿  
桜の咲く風景に誘われて  
新井宿界隈 散策してみませんか？

### ①馬込桜並木

昭和28年、地元有志の方々が、内川という小川の川岸付近に、百本の桜の苗木を植樹した時に始まります。「馬込文士村大桜まつり」も今年で10回目を迎えます。毎年4月、桜の開花とともに、馬込が一番元気になる季節です。

### ②赤毛のアン記念館・村岡花子文庫

(中央3-12-4)

1893-1969。翻訳家。お茶会風のオープンハウスは、はがきで予約を受付けています。

### ③観音堂(中央3-16-9)

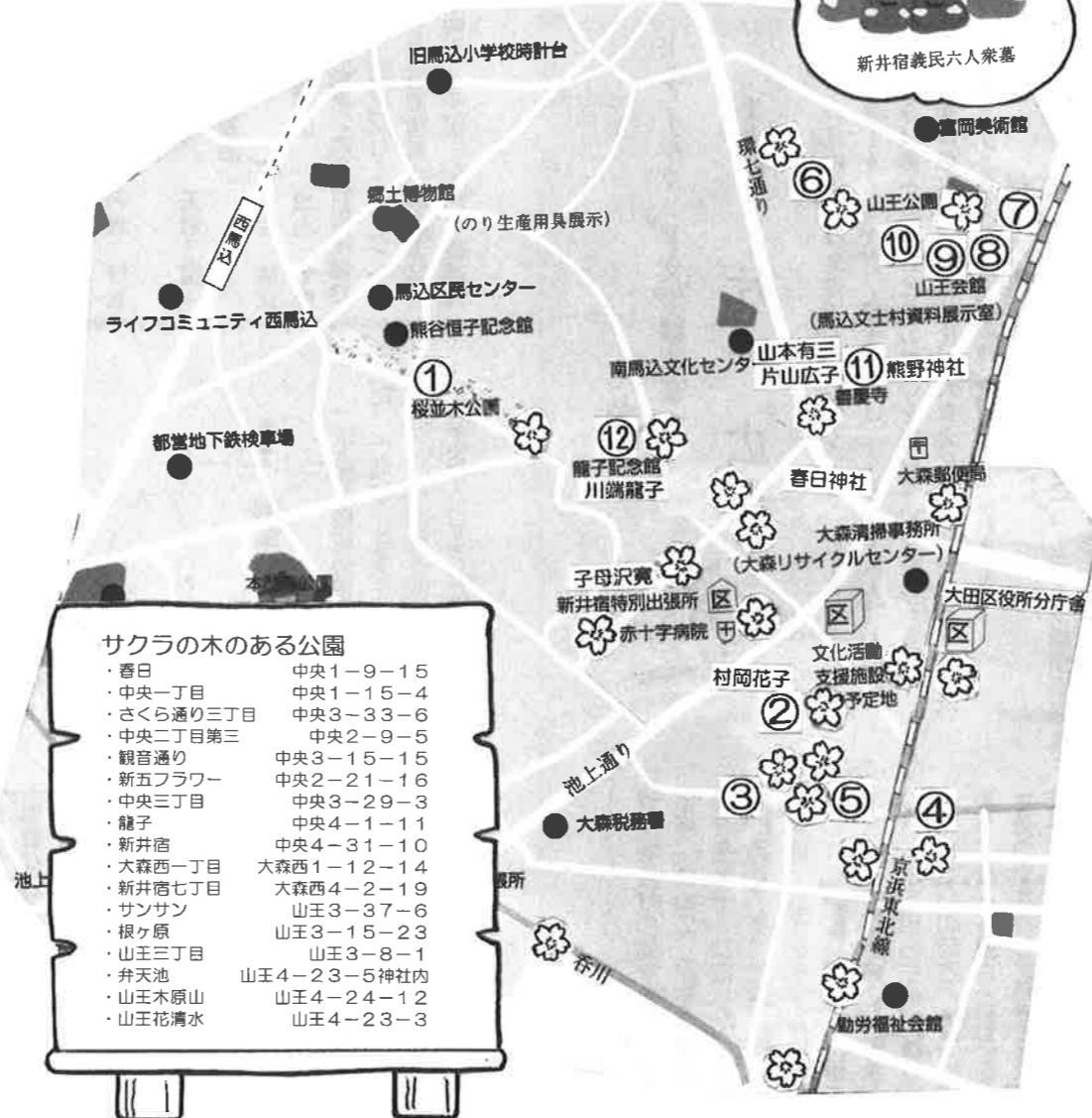
戦争犠牲者の鎮魂と、復興の願いを込めて建立された観音堂は、新大田区百景の一つになっています。

### ④内川

昔人々の飲み水となった内川は、馬込より大森中央を通る主流と、山王4丁目付近から環七に沿って流れてくる支流がありました。

### ⑤五重の塔の見える桜並木

今から20年前の昭和55年4月、中央3丁目31~7丁目12までのドブ川を、下水工事で埋めた跡地に、一・二輪轂のついた「そめい吉野」の苗木50本が植えられました。この苗木は、地元万灯講の人達が2月から、8ヶ月かけて作った手作り万灯入魂式の祝金と、新井宿睦会(代表:池田基行氏)の桜寄金を合わせて購入資金にしました。地域の子供達も交えて植樹され、プラスチック版には子供達の名前を記し、タイムカプセルにして残されています。JR側から見ると本門寺の五重の塔が見えるので、五重の塔の見える桜並木と名付けられました。現在は大田区に寄贈され、毎年見事な花を咲かせています。



### ⑥弁天池

(山王4-23-5)

木原山の山裾にあたり、池の中島に厳島神社があり、水の神の弁天が祀られています。周辺は馬込文士村です。



### ⑦閻坂(山王2-12と山王3-31の間)

明治期、この坂道は、八景園という遊園地の樹木がうつそうとして、昼間でも暗かったためにこの名が付けました。

### ⑧新井宿薬師堂(山王3-29-8)

狭い境内に、桃雲寺再興祈念碑と富士講碑(共に区の文化財指定)があります。

### ⑨馬込文士村資料展示室

(山王3-37-11 山王会館内)

平成7年5月、「馬込文士村散策コース」中の拠点施設の一つとして開設されました。

### ⑩木原山

山王の山側の小高い台地。江戸時代より木原山と称され、将軍家の兎狩りの場でもありました。付近は先史時代から生活環境に適し、貝塚や土器も出土しました。

### ⑪新井宿義民六人衆墓

(山王3-22-16 善慶寺内)

延宝4年(1674)、死を覚悟して幕府へ直訴することを計画した新井宿村の代表六人は、企てが事前に洩れ、捕らえられて斬首の刑に処せられました。彼らはいつしか義民六人衆と呼ばれ、村民の崇敬を集めようになつたと伝えられています。(東京都指定文化財)

### ⑫龍子記念館(中央4-2-1)

川端龍子は、時事問題や世の出来事を画材に取り上げ、大作の会場芸術を目指しました。3ヶ月毎にテーマを設け、作品を紹介しています。